

# 第1学年 道徳学習指導案

日 時：平成〇〇年〇月〇〇日（火）

場 所：1年教室

指導者：〇〇 〇〇

## 1 主題構成表

主題名 基本的な生活習慣 1-(1)

〈資料名 「かぼちゃのつる」 わがままをしない（文溪堂）〉

### ■内容項目

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

### ■内容項目から見た児童の実態

（意識）

- ・自己中心性が強いいため、自分勝手な行動を押し通そうとして、けんかをしたり周りの入に迷惑をかけたことがある。
- ・誰かが痛い思いをしたり、嫌な気持ちになったりすることによって初めて、自分勝手な行動がいけないことに気付くことが多い。

### ■要因

- ・人の注意を素直に聞き、わがままを抑え、他の入を思いやることが、自分も周りの入札気持ちよく生活することに気付いていない。

### ■価値の分析

- ・基本的な生活習慣の中で、自分のわがままな気持ちを抑えて生活する態度は、とても大切である。自分さえよければよいという自己中心的な生活態度では、集団の中で気持ちよく生活することはできず、他人に迷惑をかけてしまうことになる。
- ・1年生のこの時期では、自己中心的な傾向が強く、衝動的になりがちである。そうならないために、自分の思うままに行動するのではなく、深く考えて行動し、人の意見をしっかりと聞こうとする態度が必要である。

### ■資料の分析

- ・自分勝手にわがままなかぼちゃが、自分のしたい放題につるを伸ばしていく。ハチやチョウ、スイカやイヌの忠告を聞かずに道まで勝手につるをのぼしていくが、最後には、車につるを切られて涙をこぼして泣くという話である。
- ・ハチやチョウ、スイカに注意をされても聞き入れようとはせず、イヌに踏まれてもそんなことぐらい平気だと、自分勝手な行動を押し通し、周りの迷惑を考えていないことを十分につかむことができる。
- ・わがままを押し通していたかぼちゃが、つるを切られて初めて、自分の自己中心的な行為に気付き、わがままをしないで生活することの大切さを押さえることができる。

### ■ねらい

自分勝手な行動を押し通すと、自分も周りの人も嫌な思いをすることに気づき、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。

### ■展開の構想

- ・かぼちゃが、つるをぐんぐん伸ばしているときの気持ちよさをつかむ。
- ・みんなに注意を受けても聞き入れようとはせず、自分勝手につるを伸ばしているかぼちゃの気持ちに気付かせる。
- ・車につるを切られて、ぼろぼろ涙を流すかぼちゃの姿から、やっと自分の行為がわがままだったことに気付き、反省するかぼちゃの気持ちに共感させる。

### ■基本発問（◎中心発問）

- つるをぐんぐん伸ばしているかぼちゃは、どんなことを心の中で思っているでしょう。
- みんなに道路や畑にのびてはいけないよと注意されたかぼちゃはどんな気持ちになったでしょう。
- ◎トラックにひかれたかぼちゃが「いたいよ～」と泣きながら子犬やすいかにか何か言っています。何と言っているでしょう。

## 2 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

### 〈場の内容・ねらい〉

### 〈児童の意識〉

### 〈指導・援助〉

#### 【教科：生活】

生活科フェスティバルの準備では、班で出し物を相談した。班内での相談で決まったことを、一生懸命やり遂げることができた。

新1年生との交流会でも、わがままをおさえて楽しく活動し、保育園の子と仲良く遊ぶことができる。

#### 【学級活動】

「休みの日の過ごし方」

冬休みの生活を振り返り、健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活ができたかを話し合う。

できなかった場合は、その原因も考えさせる。

#### 【道徳の時間】

「かぼちゃのつる」

内容項目 1-(1)

主題名 基本的な生活習慣

#### 〈学校での日常生活に生かす〉

- 日常生活の中で、友だちに迷惑をかけたとき、何がいけなかったかを考え、わがままな態度をとらないで、よりよい人間関係を築くことができる。
- 自分の心を節制し、節度ある生活をするのが大切であることを自覚させる。

#### 【日常活動】

##### 「ありがとう発表」

帰りの会での、ありがとうの発表では、仲間のよさを見つけ、発表している。

##### 係活動

ロッカーの整頓ができていない人を係りの人が発表しているが、その指示に素直に従い、すぐに整頓している。

##### 学級遊び

すこやかな時間に学級遊びを毎回行っている。多数決で決めた遊びに素直に従いみんなで楽しく遊ぶようにしている。

- 自己主張が強く、自分のミスをなかなか認めようとしない。そのために、友達同士で争いが起きることがある。
- 他の人のことを考えて行動することが、苦手である。そのため、よし悪しが分かっていても、素直に行動できないことがある。

- みんなに、道路や畑に伸びていってはいけないと言われたときは、余計なおせっかいだ、うるさいなと思ったけど、みんなは、嫌な気持ちになっていたんだな。
- かぼちゃのように、自分勝手なことをしてはいけないな。  
**自分の日常を振り返る。**

- 自分勝手につるを伸ばしたのだから、トラックにひかれて痛い目にあったんだ。みんなの言うことを聞いてわがままをしなれば良かった。
- 自分のことばかり考えて行動すると、みんなにも迷惑をかけるし、自分にも良くないことがおこるものだな。

- 生活の中で、自己主張を通そうとして、仲間との争いをしたときを指導のチャンスととらえ指導する。
- 自分の行動を振り返らせ、そのときの気持ちを自分の言葉で話させる。

- 仲間と楽しく活動したり、決めたことを守ろうとしていたりしている児童を認め、励ましていく。
- 帰りの会での「ありがとう」の発表の中で、親切にされてうれしかったことをみんなに広めていく。

- 時間になったら活動をやめて、自分の席に着き、次の活動に移るなど、けじめをつけた生活ができるようにする。
- みんなが気持ちよく生活できるための呼びかけをしている係りの活動を広げていく。

### 3 学習指導過程

	ねらい	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	○人に注意を受けたがなかなか素直に聞けなかったことについて導入を図る。	<b>1 今までの生活の中で、人に注意されたことはあるか。その時、どうしたかを発表させる。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     今までの生活の中で、人に注意させたことは、ありますか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室や廊下を走ってはいけないと注意された。</li> <li>・お母さんにゲームばかりしていて注意された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中から、具体的な例を出すことによって、自分の生活について自覚することができる。</li> </ul>
展開前段	○資料のあらすじ確認し、登場人物の心情を理解する。 ○かぼちゃがどんどんつるを伸ばしていくときの心情を理解する。 ○みんなの注意を聞かず、自分のわがままを通したために、自分も痛い目をしたし、みんなにも迷惑をかけたことに気付くことができるようにする。	<b>2 資料を提示する</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     つるが、ぐんぐん伸びているとき、かぼちゃはどんなことを思っていたでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もともともっと伸びて大きくなるぞ。</li> <li>・大きくなって、美味しいかぼちゃをたくさん作るぞ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     みんなに道路や畑に伸びてはいけないと言われたとき、かぼちゃはどんなことを思ったでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うるさいな、べつにいいじゃないか。</li> <li>・どこに伸びようと、勝手だろう。</li> <li>・こっちへ伸びたいんだから、ほうっておいてくれよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     かぼちゃは、車につるを切られて、ぼろぼろ涙を流して泣きながら、どんな気持ちだったでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・痛いよ、せっかく伸ばしたのに切られてしまった。</li> <li>・こんなところまで、つるを伸ばさなければよかった。</li> <li>・せっかく注意してくれたのに、言うことを聞かずに伸ばしたからだ。言うことを聞いておけばよかった。</li> <li>・自分のことばかり考えて、みんなのことを考えなかったからだ。</li> <li>・みんなに悪いことをしたなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居を使い資料の提示をする。また、黒板を使いパネルシアターのように登場人物を登場させ話の内容を確認しながら授業を進めていく。</li> <li>・かぼちゃがどんどん伸びていくときの気持ちよさや、たくましさをあさがをの世話とからめて共感させる。</li> <li>・つるを切られて初めてやっと自分の行為がわがままだったことに気付き、反省するかぼちゃの気持ちに共感させる。</li> <li>・犬に踏まれても平気と言っていたのに、ぼとぼと泣いているのは、痛かっただけでなく、自分勝手な行動をみんなに注意されたのに聞かずに、みんなに迷惑をかけたことに気付くことができるようにする。</li> </ul>
展開後段	○わがままをしないで、みんな楽しく生活することの大切さを自覚させる。	<b>3 自分の生活を振り返る。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     注意を聞かずに自分勝手な行動をしたことや、人に注意されてわがままを我慢したことはありませんか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かにするように注意されて、周りの人に迷惑だと気付いたので、静かにすることができた。</li> <li>・ゲームを続けてやっていた、お母さんに注意されて、やめることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が迷惑をかけられたことから、自分勝手な行動はよくないことに気付くことができるようにする。</li> </ul>
終末	○わがままをしないで生活しようとする。	<b>4 教師の話を聞く。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わがままを言わずに我慢してよかったことの話聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わがままをしないでよかった話を聞き、気持ちよく生活しようとする意欲をもつ。</li> </ul>

#### 4 板書計画

かぼちやのつる